

指定管理施設の管理運営状況のまとめ(平成29年度分)

施設名 松江市宍道ふるさと森林公園・来待ストーン
 指定管理者 一般財団法人宍道湖西岸森と自然財団
 担当課 観光施設課
 指定期間 平成28年4月1日～平成33年3月31日

1. 総合評価

市	A	【優れていると評価した点】 ○両施設ともに、利用者ニーズと施設の魅力を生かした利用促進や地域活動への積極的参加を通して、PRと利用者確保に努めている。 ○森林公園では、外国人利用者集客の取り組みや、子供を対象としたキャンプイベントにより、新規誘客や長期的視点での利用者確保を実施し、利用者数増を達成した。 ○来待ストーンでは、予約不要で気軽に参加できる体験を常設化するなど、体験の幅を広げたほか、国引きジオパーク協議会や松江市史の編纂にも参画するなど、地域貢献も積極的に行っている。 ○その結果、指定管理事業、自主事業ともに黒字決算となっており、安定した経営を行っている。 【評価できない、または改善すべき点】 ○月報を期限内に提出すること。 ○来待ストーン陶芸館の専門スタッフ確保による早期通常営業再開が課題である。
---	---	---

指定 管理 者	A	【優れていると評価した点】 ○森林公園 ・利用促進のための活動を積極的に行い、宿泊施設及びキャンプ場の利用者数・利用料収入共に目標値及び出雲大社の遷宮効果の大きかった平成25年度実績を上回った。 ・指定管理業務、自主事業ともに収支は黒字で経営が安定している。 ・施設の特色を生かした自主事業を年間を通して実施した。・利用者の意見を積極的に取り入れ、利用者サービスや快適性の向上(宿泊施設等へのwi-Fi機器の設置等)に努めた。 ○来待ストーン ・利用促進にむけ小学校へのチラシ配布などを実施し、利用者数・利用料収入ともに前年度を上回った。 ・国引きジオパーク構想運営協議会、来待石振興プロジェクト、瑞風とまちづくりの会などへ積極的参加し、地域貢献や来待石の普及啓発に貢献した。 ・指定管理業務、自主事業ともに収支は黒字で、経営が安定している。 【評価できない、または改善すべき点】 ○共通 ・両施設ともに設置から20年以上経過し、施設の老朽化や設備の耐用年数超過は否めず、松江市による修繕が十分とは言えない。今後の施設の維持管理、修繕の実施について松江市の関係機関と連携し、可及的速やかに対応することで、利用者にとって快適かつ安全な施設であるよう努める必要がある。 ・月報を期限までに提出できるよう改善を図りたい。
---------------	---	--

2. 施設利用の増減について

総 括	○適切な利用促進策と施設の魅力を生かした自主事業、新規誘客に向けたPR(外国人向け宿泊予約サイト活用)などを通じて利用者を確保し、健全な黒字経営を行っている。 ○修繕や備品更新についても利用者の安全性確保や利便性向上のため積極的に行っている。 ○そういった取り組みにより利用者から高い評価を得ており、今後の利用者増につながる施設運営を行っている。
--------	---

指定管理施設の管理運営状況のまとめ(平成29年度分)

施設名 松江市宍道ふるさと森林公園・来待ストーン
 指定管理者 一般財団法人宍道湖西岸森と自然財団
 担当課 観光施設課
 指定期間 平成28年4月1日～平成33年3月31日

(1) 収支状況の推移 (自主事業を除く) (千円)

項目\年度		H26	H27	H28	H29
施設の収支	収入	58,565	58,772	63,240	61,340
	うち指定管理料	17,931	17,670	20,613	16,878
	うち利用料	38,846	41,102	42,609	44,462
	支出	57,338	57,722	62,021	58,403
	差引	1,227	1,050	1,219	2,937

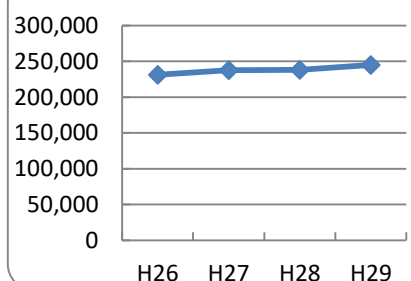
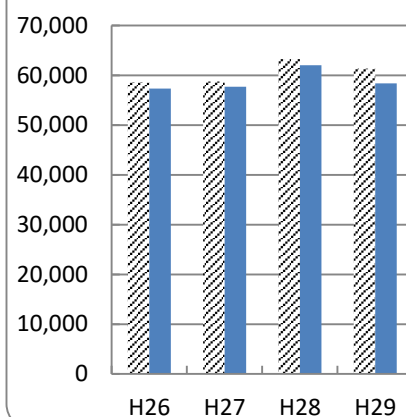
上記以外の市の収入、支出

市の収支	収入(使用料)	365	366	353	284
	支出	1,530	1,736	5,893	1,225
	うち市の修繕費	1,530	984	1,819	399

(2) 利用者の推移 (人)

H26	H27	H28	H29
231,325	237,676	238,241	245,069

※利用料金制を採用 ※収入 ■ 支出



指定管理施設の管理運営状況のまとめ(平成29年度分)

施設名 松江市宍道ふるさと森林公園・来待ストーン
 指定管理者 一般財団法人宍道湖西岸森と自然財団
 担当課 観光施設課
 指定期間 平成28年4月1日～平成33年3月31日

【参考】産出指標(アウトプット)・成果指標(アウトカム)の達成状況

指定管理者が管理する公の施設は、市の施策を実現するために設置されたものですが、その設置目的の多くは抽象的なものとなっています。この設置目的を効果的に実現するためには、市が目標(指標)を具体的に示し、指定管理者と共有した上で施設の管理運営を行うことが大切です。

さらに、目標(指標)がどれだけ達成されたかを客観的に評価するため、指定管理者の活動の結果(アウトプット)や活動からもたらされた成果(アウトカム)を数値化し、市民の皆さんへ公表します。

- 〔 A 基準値 : 指定管理者募集の際に、市が提示した指標の値
- 〔 B 目標値 : 市が提示した基準値に対し、申請時に指定管理者が提案した値
- 〔 C 実績値 : 実績の値

分類	指標	A 基準値	B 目標値	C 実績値	目標に対する 達成度 C/B	基準に対する 達成度 C/A
アウトプット	ふるさと森林公園 年間宿泊者数(H23～ 26年度の平均値の90%)	49,844	56,500	58,631	103.8%	117.6%
	来待ストーン 年間利用者数(H23～ 26年度の平均値の90%)	27,168	31,100	25,614	82.4%	94.3%
	モニタリング(満足度)%	70	75	87	116.0%	124.3%
アウトカム	宍道地区の年間観光入 込客数	335,560	380,870	381,897		
				達成度 平均	100.7%	112.1%

	指定管理者	市
達成度 に対する 意見	【達成度に寄与した・有効だった取組みの内容、次期に向けた課題】 ○森林公園 ・魅力ある宿泊プランの実施や外国人向け宿泊サイトの活用などインターネットによる集客の強化や、シーズンごとの料金設定など利用者の獲得に努めた。 ・アンケート回収率向上が今後の課題だと考える。 ○来待ストーン ・新たな体験ソフトを常設体験として導入したこと、既存の体験ソフトも予約不要にしたことなどの、体験ソフトを充実させたことが利用者確保につながったと考えている。 ・冬期の利用者数確保に向けた対策と、陶芸館専門スタッフの確保による通常営業再開が課題だと考える。	【達成度の原因・分析】 ○平均アウトプット指標で基準値を大きく上回り、目標値についても平均では達成している。 ○年間宿泊者数、利用者数については、来待ストーンは減少したが森林公園がカバーした形となった。モニタリング(アンケート)回収数も着実に伸びており、そこからニーズを捉え、的確な対応を実施したことで、高い満足度をを得ることができています。 ○松江城国宝化の効果が落ち着きを見せる中で、利用促進の取り組みを着実に実施し、地域貢献にも注力しており、日々の改善が今後の達成向上につながることを期待する。

指定管理施設の管理運営状況のまとめ(平成29年度分)

施設名 松江市宍道ふるさと森林公園・来待ストーン
 指定管理者 一般財団法人宍道湖西岸森と自然財団
 担当課 観光施設課
 指定期間 平成28年4月1日～平成33年3月31日

(3)利用者アンケート

回答数	施設職員の対応・態度等、施設管理やサービスについて	主な意見
1935	①満足している 1,591件(82.2%) ②どちらともいえない 344件(17.8%) ③満足していない 0件(0%)	①良い 学芸員の説明が分かりやすかった。 ②苦情 なし ③要望 松江市がもっと宣伝をすればいい。もったいない。

(4)住民サービス向上の事例

○森林公園では、喫茶事業やキャンプスクールなど利便性向上、市民参加型の取り組みを多数実施した。
 ○来待ストーンでも、短時間でできる体験メニューを常設化し、サービス向上に努めた。
 ○また、両施設とも、地域のイベントに参加、協力したほか、瑞風や国引きジオパーク関連事業にも参画し、積極的な地域貢献を行っている。

3. 自主事業

総括	○積極的な自主事業実施により、サービス、魅力向上が図られており、利用促進や利用者拡大につながっている。 ○両施設ともに自主事業で黒字を確保しており、安定した経営、施設運営にもつながっている。
実施状況	○森林公園 森林環境保全思想の普及啓発事業、喫茶事業、ブライダル事業、各種体験イベント(キャンプスクールやピザ窯体験など) ○来待ストーン 来待石及び来待石産業の普及啓発事業(国引きジオパーク推進、ペンダント作り出張体験など)、ブライダル事業、物販事業

4. 特記事項

○来待ストーン陶芸館について、指導員不足による縮小営業が続いており、通常営業再開が望まれる。

5. 今年度の目標・課題

○5年間の指定管理における2年度目であったが、引き続きの指定管理者でもあり、混乱もなく業務を実施できている。今後も効果的なPRや集客事業を継続するとともに、アンケート等で利用者の需要を把握し、改善を続ける必要がある。